



2020年2月4日  
三井住友DSアセットマネジメント  
シニアストラテジスト 市川 雅浩

## 市川レポート

## 2020年の米大統領選挙～予備選挙と党員集会が始まる

- 米大統領選挙が本格的にスタート、アイオワ州党員集会とニューハンプシャー州予備選挙に注目。
- 民主党候補者はバイデン氏、サンダース氏、ウォーレン氏、ブティジェツジ氏の4候補にほぼ絞られる。
- リベラル派同士のサンダース氏とウォーレン氏の戦いが長期化した場合バイデン氏に有利な展開も。

## 米大統領選挙が本格的にスタート、アイオワ州党員集会とニューハンプシャー州予備選挙に注目

2020年の米大統領選挙は、2月3日のアイオワ州党員集会を皮切りに、本格的にスタートします（図表1）。民主党、共和党の大統領候補は、党の全国大会において、有権者の代理人となる「代議員」の投票で決まります。その代議員を選ぶのが、「予備選挙」と「党員集会」です。予備選挙では、通常の選挙と同様、投票所で秘密投票が実施され、党員集会では、有権者が公民館などに集まり、投票や話し合いで得票数が集計されます。

米大統領選挙では、伝統的にアイオワ州が最初に党員集会を開き、続いてニューハンプシャー州が予備選挙を実施します。過去、この2州で勝利できないまま大統領候補の指名を得たケースはほぼありません。そのため、序盤2州の結果は、市場の関心も高く、また、各候補者にとっても、ここで勝利できれば注目度が一気に増すことから、重要な戦いとなります。

【図表1：2020年米大統領選挙スケジュール】

日程	内容
2月	3日 党員集会（アイオワ州）
	11日 予備選挙（ニューハンプシャー州）
	22日 党員集会（ネバダ州）
	29日 予備選挙（サウスカロライナ州）
3月	3日 <スーパーチューズデー> 予備選挙（カリフォルニア州など14州）、党員集会（米自治領サモア）
	7月 13日 民主党全国大会（ウイスコンシン州ミルウォーキー、16日まで）
8月	24日 共和党全国大会（ノースカロライナ州シャーロット、27日まで）
9月	29日 大統領候補テレビ討論会（第1回）
10月	7日 副大統領候補テレビ討論会
	15日 大統領候補テレビ討論会（第2回）
	22日 大統領候補テレビ討論会（第3回）
11月	3日 大統領選挙

（出所）各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：米民主党の主な候補と主張】

ジョー・バイデン （中道）	国民皆保険制度の導入には懐疑的で、オバマケア維持の立場。同盟国との関係を再構築し、北朝鮮やロシアには強硬姿勢で臨む。パリ協定復帰、温暖化対策再開など。
バーニー・サンダース （リベラル）	国民皆保険制度の導入、富裕層への増税、公立大学無償化、学生ローンの帳消し、温暖化対策としてグリーンニューディールを提唱など。
エリザベス・ウォーレン （リベラル）	国民皆保険制度の導入、富裕層への増税、法人税の増税、防衛費削減、グラス・スティーガル法の復活（銀行と証券を分離）、巨大ハイテク企業の分割など。
ピート・ブティジェツジ （中道リベラル）	医療保険制度改革（公的保険を拡充するため、連邦法人税率をトランプ減税まえの35%に引き上げ）、全米で高速通信網を再整備、気候変動対策、外交政策の見直しなど。

（出所）各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成



## 民主党候補者はバイデン氏、サンダース氏、ウォーレン氏、ブティジェッジ氏の4候補にほぼ絞られる

共和党では、トランプ米大統領が候補の指名を受けることがほぼ確実な見通しです。これに対し、民主党では多数が立候補する混戦となっていました。ここにきて、バイデン前副大統領、サンダース上院議員、ウォーレン上院議員、ブティジェッジ前サウスベンド市長の4名にほぼ絞られてきています。ただ、ブルームバーグ元ニューヨーク市長の動向も引き続き注目されています。

各候補の主な主張は図表2の通りです。サンダース氏、ウォーレン氏はともに、国民皆保険制度の導入や、富裕層への増税などを政策に掲げ、リベラル路線を打ち出しています。一方、バイデン氏は、国民に増税を強いる国民皆保険には反対の立場であり、また、国際的な同盟関係を重視するなど、穏健な中道路線を唱えています。ブティジェッジ氏は、公的保険の拡充や外交政策の見直しなど、中道リベラルの路線です。

## リベラル派同士のサンダース氏とウォーレン氏の戦いが長期化した場合バイデン氏に有利な展開も

足元では、サンダース氏が急激な追い上げにより支持率を伸ばしており、アイオワ州党員集会とニューハンプシャー州予備選挙で連勝する可能性が高まっています。サンダース氏は、民主社会主義を標榜するリベラル派（ウォーレン氏は資本主義を標榜するリベラル派）です。そのため、若年層に人気はあるものの、幅広い層に支持が広がりにくく、序盤2州以降の州では、依然としてバイデン氏の支持率が高い状況です。

ブティジェッジ氏は支持率が伸び悩んでおり、序盤で善戦して勢いをつけられなければ、その後は苦戦が予想されます。なお、民主党候補は、予備選挙と党員集会が集中する3月3日の「スーパーチューズデー」で、かなり絞り込まれると思われます。この時点でも候補が固まらず、リベラル派同士のサンダース氏とウォーレン氏の戦いが続いているとすれば、リベラル派の票が割れて共倒れとなり、中道派のバイデン氏に有利な展開となることも考えられます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会